

受付月日	No.	申込金受領	会場番号	講演番号

平成19年度大会講演会投稿票

1. 講演者の氏名・所属機関 (共同研究の場合は、代表発表者に 印をつけて下さい。氏名の順序は原稿と一致させて下さい。)

	代表発表者に印	会員番号	氏名	フリガナ	所属(和)
				ローマ字(姓_名)	所属(英)
1			杉下 新	スギシタ アラタ Sugisita_Arata	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
2			加藤 亮	カトウ タスク Kato_Tasuku	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
3			黒田 久雄	クロダ ヒサオ Kuroda_Hisao	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
4			中曽根 英雄	ナカソネ ヒデオ Nakasone_Hideo	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
5					
6					
7					
8					

代表者の連絡先(住所) 〒 300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4322-1シーダース・アミ・98・303号
 (TEL) 090-4238-4800 (FAX)
 E-mail a33018n@acs.ibaraki.ac.jp

Excelファイルの送信日: _____

2. 講演題目 (題目および副題は、必ず本文と同じものを記入して下さい。)

(和文) タンクモデルによる山田川の水質変動のシミュレーション

(英文) Simulation of water quality tank model in Yamada river.

3. 講演希望部門 (第1希望部門と、第2希望部門を数字で記入して下さい。)

第1希望 10

第2希望 2

1. 水理 2. 水文・気象 3. 土壌物理 4. 土質力学 5. 応用力学 6. 材料・施工 7. 灌漑排水
 8. 農地造成・整備・保全 9. 農村計画 10. 環境保全 11. 生態環境 12. 農業土木教育・農業情報

4. キーワード (上記の講演希望部門に関連したキーワードを1個以上、記入して下さい。)

1	地利用別タンクモ	2	溶出窒素	3	蓄積窒素
---	----------	---	------	---	------

5. 図表などの数

写真枚数	図枚数	表枚数	参考文献数
	3		

6. 発表形態

2 1. 口頭発表 2. ポスター発表

7. プログラム編成上必要な場合、発表形態の変更に応じて頂けますか？

N Y. 諾 N. 否

8. 講演の概要(200字) (必ず日本語で記入して下さい。)

農地からの肥料の溶脱や畜産廃棄物など、これらの窒素負荷流出は土壤中に蓄積した窒素からも起こる。流域管理には窒素流出の傾向や土壤中に蓄積されている窒素量が与える影響や河川の水質変動を予測することが必要であると考え、集中型土地利用別タンクモデルを用いて集水域内の流量とT-Nに関するシミュレーションを行った。また、対象流域を四分劃し、各流域末端で水質の流出特性の再現と検証を試みた。